

僕とスマホ

智辯学園奈良カレッジ中学部1年 梅本 圭健

皆さんはスマホを持っていますか？中学生がスマホを持つことに賛成ですか？反対ですか？

スマホがこの世の中に登場してから十数年以上が経ちますが、ものすごく機能や中身も進化しました。それに伴ってスマホにまつわる事件や事故、いじめやマナーについてなどニュースで取り上げられることがとても多くなりました。と思います。

最近、格安スマホなどの登場でスマホを持つ年齢もずいぶん低くなっていると思います。

最初にスマホを持つことに賛成か、反対かと聞きましたが、僕は賛成です。スマホを持たせてもらっている家は、それぞれに持つことに至った理由などは違うかと思いますが、まだ未成年の僕たちなので、非常に慎重にあつかわなければいけないと思います。

僕が、中学入試に合格して入学するときにスマホを買ってもらう約束をしました。でも実際すぐにも買ってもらうことはできず、買ってもらう前に両親と何時間も話し合っ、スマホの使用契約書をかわしました。

スマホは簡単に持ち運ぶことができるインターネットにつながったパソコンのようなものだと考えます。

契約書の最初に両親からのメッセージが送られてあったので、その一部を紹介します。「この道具は便利さと同時に様々な責任を伴う物です。この使用契約書と同時に利用契約書も一緒に読んで十分理解してください。スマホは車と同じです。今までは歩いてしかいけない世界から車に乗ることで行ける世界は大きく広がります。しかしそれと同時に事故を起こす可能性ももっています。時には人をけがさせてしまう恐れもあります。スマホも同じで便利であなたの世界を大きく広げてくれる反面、様々な危険も潜んでいます。これらの危険からあなたを護り、健康で豊かな人間性を持ち合わせ、現代のテクノロジーに使われるのではなく、使いこなせる立派な大人

になってもらうことが私達、親の仕事なのです。なおこれら規制やルールを守れなかった場合、所有する権利はなくなります。」これを読んで僕は両親にとっても信頼されているんだとうれしく思ったのと同時に、この信頼を裏切ってはいけないという強い責任感とそんな大切なものを持たせてもらえるということにとっても身が引きしまる思いがしました。

他にも細かい約束ごとがたくさんありますが、何か失敗してしまった時もその失敗について両親と話し合い、そこから学んで再スタートするチャンスを与えてくれます。

僕の世代は様々な情報にアクセスできる世代です。スマホを持たせてもらったので、それを活用して視野や知識を広げて行けるといいと思います。

スマホやSNSにとられすぎず、けじめをつけて利用し、学校の勉強にも努力していきたいと思います。

「時々、家にスマホを置いてでかけましょう。」という約束があります。その選択に自信を持ちたいです。スマホは単なる道具であって、僕の一部ではありません。道具に使われることなく、使いこなしたいです。

「上を向いて歩こう！周りをよく見て！」画面の中よりも僕の周りの現実の世界は大きく広がっています。人との会話を楽しみたいです。解決方法をスマホにたよるのではなく、自分自身で考える力をつける努力をしたいです。

初めに中学生がスマホを持つことに賛成か反対かの質問をしましたが、この質問には正解はないと思います。その人その人の状況に応じて自分の答えを見つけ出してほしいと思います。それぞれに強い心と信念でこの時代をスマホとともに生きて行けたらいいと思います。